

滞在期間延長の条件について(介護福祉士候補者)

インドネシア人介護福祉士候補者第7陣、フィリピン人介護福祉士候補者第6陣及びベトナム人介護福祉士候補者第1陣のうち、次のいずれにも該当する者に限り、所要の手續及び審査を経て、協定に基づく滞在期間中の最後の国家試験の次年度の国家試験合格を就労・研修しながら目指すことを可能とするため、協定に基づく滞在期間を超えて追加的に1年間滞在期間を延長し、日本での就労・研修を継続し国家試験を受験する機会を特例的に一回に限り得られるようにするものである。

※ EPAに基づくインドネシア人、フィリピン人及びベトナム人看護師・介護福祉士候補者の滞在期間の延長について(平成29年2月3日閣議決定より)

- ア. 追加的な滞在期間における就労・研修は、協定に基づく受入機関との雇用契約に基づいて行われること。
- イ. 候補者本人から平成30年度の国家試験合格に向けて精励するとの意思が表明されていること。
- ウ. 受入機関により、平成30年度の国家試験合格を目指すため、候補者の特性に応じた研修改善計画が組織的に作成されていること。
- エ. 受入機関により、平成30年度の国家試験合格に向けた受入体制を確保するとともに、上記計画に基づき適切な研修を実施するとの意思が表明されていること。
- オ. 平成29年度の国家試験の得点が一定の水準以上の者であること。